

地質情報管理士を受験して

基礎地盤コンサルタンツ(株) 久野 高明



今回、地質情報管理士を受験し、幸運にも合格することができました。受験体験談ということで、私の受験対策を書きたいと思います。

<地質情報管理士とは>

そもそも、地質情報管理士ってどんな資格なの?と思われる方が多いと思います。どのような資格なのかを把握することは、受験動機の再認識や受験対策の方向性を確認する上で必要なことと思います。

地質情報管理士は、(一社)全国地質調査業協会連合会(以下、全地連)によると少々長いですが次のような技術者であるとしています。『地質調査業務に精通し、(1)現場で取得した様々なデータ(情報)類を電子化したり、データベースを構築する際に必要な情報処理と情報管理能力を有する技術者。(2)電子成果品として納品する地質情報の品質管理能力を有する技術者。(3)GISツールやWeb-GISプラットフォームを活用することによって地質データの公開や2次利用を図る能力を有する技術者。(4)GISツールやWeb-GISプラットフォームを活用することによって地質データの公開を行う際に必要な留意点や建設のライフサイクルにおける下流工程も含め、情報を再利用する観点から留意しなければならない事項について理解を有する技術者。』

また、全地連では地質情報管理士は、このような地質情報の取り扱いと、今後の2次利用の中心となりうる技術者に付与するための資格としています。

このため、試験では主に「地質情報の取り扱い」と「今後の2次利用」について問われることとなります。

<試験対策>

試験は、筆記試験により行われます。出題は4部構成となっており、1部と2部が「四肢択一問題」、3部と4部が「記述式問題」となっています。

受験対策として、全地連HPで公開されている過去問を解くことを薦めます。私の場合、とにかく過去問4年分を解きました。そして、事前講習としてのe-Learningを活用することもお勧めします。e-Learningでは、問題への解説が書かれているものもあり、解説文を読むだけでも勉強になります。

特に四肢択一問題は、過去問を解くことで出題傾向を把握することができ、さらに自分の得意分野および不得意分野を把握することができました。私の場合、あまり試験まで時間が無かったので、不得意分野だけに的を絞って勉強しました。

次に記述式問題への対策ですが、これは出題傾向を把握することが難しいため、過去の四肢択一問題を利用しました。例えば、四肢択一問題で4つのうちから正解を一つ選びないさいという問題の場合、間違っている3つの文章のどこが不適切なのかを自分で調べるという方法です。調べることを通して、記述式に必要な知識を得ることができたと考えています。

<おわりに>

私が行った勉強方法をまとめてみましたが、受験者の方にとって少しでも参考になる部分があれば幸いに思います。最後になりますが、受験者の方の合格を祈っています。